

日本基督教学会 第61回学術大会会場案内  
西南学院大学

受付 (8:30~12:00)	1号館6階
研究発表 第1会場	1号館609教室
第2会場	1号館610教室
第3会場	1号館611教室
第4会場	1号館607教室
オルガン演奏・瞑想 (昼休み)	大学チャペル
昼食	西南クロスプラザ等
受付 (12:30~17:00)	西南コミュニティーセンター
総会	西南コミュニティーセンター
講演会	西南コミュニティーセンター
シンポジウム	西南コミュニティーセンター
全国・理事幹事会	1号館304教室
学会誌編集委員会	1号館305教室
休憩室 (午前中)	1号館605教室
大学博物館・聖書植物園案内	大学博物館
懇親会	西南クロスプラザ
クローク (8:30~18:00)	西南コミュニティーセンター
スタッフ控室	1号館710教室

中央キャンパス

1号館、大学チャペル

東キャンパス

西南コミュニティーセンター、西南クロスプラザ、大学博物館

日本基督教学会 第61回学術大会プログラム

9月10日(火)

8:30 受付

研究発表	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
9:00	①李 劍峰	①三野 和恵	①金 柱英	
9:30	②戸根 裕士	②三輪 地塩	②金 香花	
10:00	③福嶋 揚	③李 元重	③洪 伊杓	
10:30~10:45				
10:45	④佐藤 貴史	④山下 壮起	④岩井 謙太郎	①本城 仰太
11:15	⑤金 珍熙	⑤金 宥良	⑤朝香 知己	②藤原 佐和子
11:45	⑥三上 章	⑥徐 亦猛	⑥武藤 慎一	③原口 尚彰

12:15~14:30 昼休憩

(12:30~13:00 オルガン演奏と瞑想の時間)

12:30 理事・幹事会

14:30~16:30 講演(西南コミュニティーセンター)

「なぜ日本にキリスト教は広まらないのか」

講師：古屋 安雄 氏(国際基督教大学名誉教授)

(16:40~17:40 大学博物館(オルガン演奏を含む)および聖書植物園案内)

18:00~20:00 懇親会(西南クロスプラザ2F)

9月11日(水)

8:30 受付

研究発表	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
9:00	①谷塚 巖	①洪 珉基	①岩寄 大悟	①片木 華枝
9:30	②南 翔一朗	②大野 剛	②渡部 和隆	②魯 恩碩
10:00	③加納 和寛	③伊勢田 奈緒	③木村 里奈	③文 禎顯
10:30~10:45				
10:45	④加藤 喜之	④森島 豊	④能勢 岳史	④高橋 博厚
11:15	⑤深井 智朗	⑤一色 哲	⑤内村 茂	⑤堺 正憲

11:45~13:10 昼休憩

11:50 編集委員会

13:10 総会(西南コミュニティーセンター)

14:30~17:00 シンポジウム(西南コミュニティーセンター)

「東アジアの平和形成に対するキリスト教の貢献」

パネリスト：

芦名 定道 氏(京都大学教授)

薛 恩峰 氏(桜美林大学専任講師)

木村 公一 氏(福岡国際キリスト教会協力牧師・元インドネシア派遣宣教師)

研究発表（9月10日（火）9:00～12:15）

第1会場（I-609）

- ①李 劍峰 中国におけるカール・バルト研究の現状
- ②戸根 裕士 和解の対象の普遍性について  
—カール・バルト『教会教義学』（IV/2）第15章64節2項の考察—
- ③福嶋 揚 希望に基づく闘争 —バルト『教会教義学』の未完の終末論
- ④佐藤 貴史 J・ハーバーマスの宗教論
- ⑤金 珍熙 イエス・キリストにおける神性と人性の関係から見る現代キリスト論の問題点 —イエス・キリストの基準性という視点において—
- ⑥三上 章 ジョン・スミス『魂の不死について』におけるエピクロス批判とプラトニズム

第2会場（I-610）

- ①三野 和恵 日本植民地支配下台湾における宣教師キャンベル・N・ムーディの伝道論と実践
- ②三輪 地塩 津和野藩における流配キリシタンの殉教と葬りについて
- ③李 元重 植民地朝鮮における日本基督教会の朝鮮伝道  
—伝道の開始から朝鮮中会から建設まで
- ④山下 壮起 アフリカ系アメリカ人教会の保守的価値観
- ⑤金 宥良 在日青年の苦悩  
—1970年代における在日韓国留学生の逮捕と在日大韓基督教会の対応—
- ⑥徐 亦猛 中国社会とキリスト教に関する一考察

第3会場（I-611）

- ①金 柱英 新渡戸稲造の宗教思想—生命と力としての宗教
- ②金 香花 ナイダの動的等価理論における「読者」—聖書翻訳との関連で—
- ③洪 伊杓 海老名弾正をめぐる「神道的キリスト教」論争の再考察
- ④岩井 謙太郎 シュヴァイツァーにおける自己完成と献身の倫理の関係性
- ⑤朝香 知己 養子縁組の神学的評価に関する一考察
- ⑥武藤 慎一 前近代・北東アジアのキリスト教思想  
—ハラホト新出土シリア語文書を中心として—

第4会場（I-607）（10:45～12:15）

- ①本城 仰太 テルトゥリアヌスの三位一体論 —信仰の基準に基づく考察
- ②藤原 佐和子 タイの女性聖書学者 ガモン・アラヤプラティープの思想再考  
—1970年代以降のタイ語、英語による論放から—
- ③原口 尚彰 アガペーとしてのフィリア：ヨハネ福音書における友愛の問題

研究発表（9月11日（水）9:00～11:45）

第1会場（I-609）

- ①谷塚 巖 キルケゴールとコミュニケーションの問題  
—『あとがき』を手がかりにして—
- ②南 翔一朗 カントの宗教哲学における「善の原理の人格化された理念」とキリスト
- ③加納 和寛 新しい教義か、教義なきキリスト教か  
—O・ドライヤーとJ・カフタンの論争をめぐって—
- ④加藤 喜之 スラヴォイ・ジジェクのキリスト論とラディカル・オーソドクシー
- ⑤深井 智朗 ドイツ出版協会平和賞におけるパウル・ティリヒ

第2会場（I-610）

- ①洪 珉基 M.C.ハリス(Merriman, C. Harris)における宣教活動の一考察  
—韓国側の視点から—
- ②大野 剛 賀川豊彦のキリスト教社会経済論—協同組合型社会の形成を目指して
- ③伊勢田 奈緒 宗教改革者ブーゲンハーゲンの教育の改革についての一考察
- ④森島 豊 キリスト教と人権思想 —日本国憲法への影響をめぐって—
- ⑤一色 哲 志喜屋孝信のキリスト教 —戦後復興と新沖縄建設運動との関連で—

第3会場（I-611）

- ①岩寄 大悟 創世記22章15-18節の文学的機能
- ②渡部 和隆 内村鑑三におけるヨハネ黙示録一章八節の解釈
- ③木村 里奈 カール・バルトの『ローマ書』における「神認識」：  
第一版と第二版の比較研究
- ④能勢 岳史 「エデンの園の物語」とイザヤ書  
モチーフから見る間テクスト的影響関係
- ⑤内村 茂 ガラテヤ書1章4節に見る、チェスター・ビーティ・パピルスIIとマルキオン聖書の関係

第4会場（I-607）

- ①片木 華枝 アレクサンドリアのフィロンにおける徳について
- ②魯 恩碩 「契約の書」における捕囚期以後ユダヤ社会の肖像
- ③文 禎顯 魂の不滅(immortalitas animae)に関するアウグスティヌス思想の不明瞭さについて
- ④高橋 博厚 ヨハネス・クリュソストモス『ユダヤ主義者反駁講話』における律法理解
- ⑤堺 正憲 神の恵みと報いについて  
—アウグスティヌスとトマス・アキナスの場合—